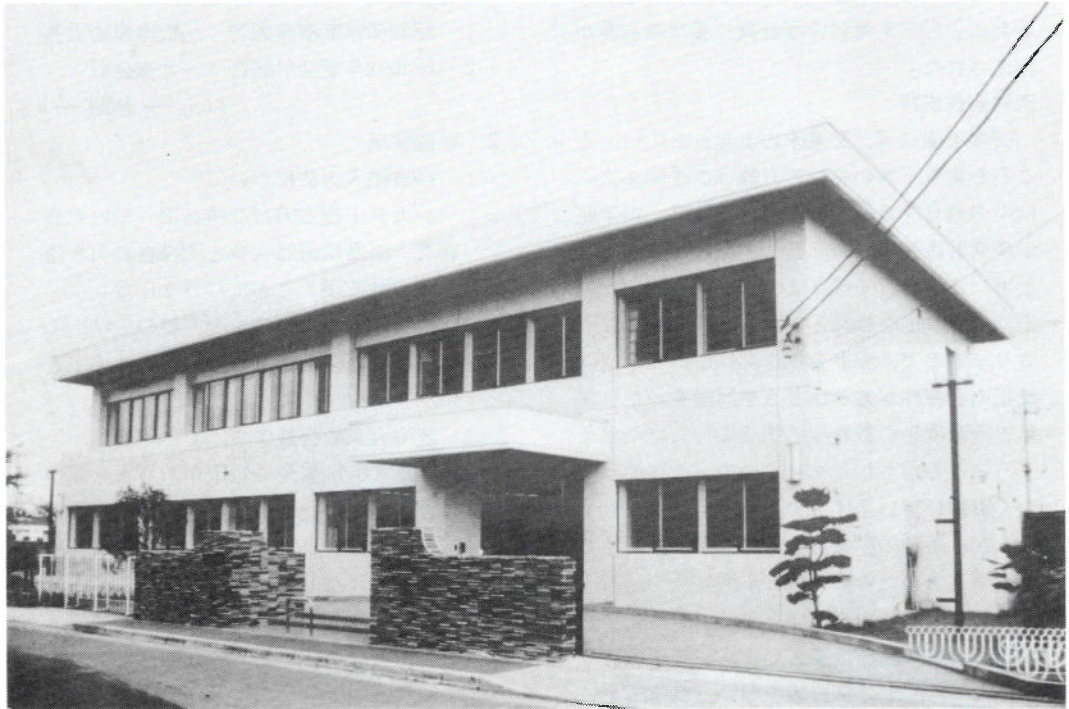


西多摩医師会報

第187号 昭和63年7月



福生市健康センター・福生市医師会休日診療所

目 次

	頁		頁
1 臨時総会(大嶽栄二) ……	2	8 ブロックだより(大嶽栄二) …	21
2 理事会報告(大嶽栄二) ……	3~5	9 羽村三師会一周年記念講演報告	
3 地域医療委員会報告		(真鍋 勉) …	21
(林 実) ……	5	10 市町村医師会紹介シリーズ	
4 三多摩地区医師会広報研究会		福生市医師会(道又正達) …	21~22
(大嶽栄二) …	5~6	11 医師会日誌 ……	23~24
5 西多摩医師会、西多摩三保健所		12 同好会だより	
懇談会(大嶽栄二) ……	6	(ゴルフ、テニス) …	25
6 さみだれ月(小泉新策) ……	6	13 あとがき(BEN) ……	26
7 学術部回顧録			
(塩沢永康) ……	7~20		

昭和63年度臨時総会開催

昭和63年度臨時総会は、5月21日(土)午後2時より西多摩医師会館において開催された。

足立総務部長司会により議長団登壇資格審査(委任状を含む168名出席、会員総数293名)の、のち後藤議長より開会宣言、議事録署名人として木野村幸彦会員、堤次雄会員が指名された。

西村会長挨拶

天候不順の折、又週末の土曜日お忙しいところお集り下さいまして有難うございます。例年の通り決算総会でありますので、本年度の事業計画等について言及するのは避けたいと思っておりますが、先般たまたま前期の総会の席上、定款改正をしたらどうかとの発言をしておりますので、理事会執行部において、定款改正の必要性があるかどうか討議をいたしまして定款改正の委員会の構成をしていただくようになるかもしれませんので、その節は宜敷くお願い申し上げます。出足が遅くなりましたが、各種の委員も今月の理事会において決定致しましたので今後2年間宜敷く医師会の為におつき戴きたいとお願い申し上げます。お手許に配布してあります62年度決算その他について充分御討議を願い、御承認をいただければ幸いです。

議題

1 審議事項

- (1) 昭和62年度一般会計収支計算につき承認を求める件 ……大塚理事
- (2) 昭和62年度特別会計収支計算につき承認を求める件 ……大塚理事
監査報告 ……近藤監事
以上 — 承認 —

2 東京都医師会代議員(補欠)、同予備代議員(補欠)選挙

立候補者は定数内のため無投票で当選決定。

当選者 東京都医師会代議員(補欠)

大塚渉会員

〃 東京都医師会予備代議員(補欠)

中村武会員

大塚副会長より閉会の挨拶あり閉会した。

医師会総会終了後引き続き下記の総会が開催された。

◎西多摩医師政治連盟

1 報告事項

1. 昭和62年度事業報告 …松原副委員長
2. 昭和62年度会計報告 …大塚会計

以上 — 承認 —

2 協議事項

1. 会費納入方法について

レセプト提出時にご持参頂いていた会費を、次回は医師会費と同様自動引き落としにさせて頂くことになりました。

尚従来通りの方法を御希望の方は、その旨西多摩医師会事務局まで御連絡下さい。

2. 老令会員の会費について

会則に特別減免の規定がありませんので西多摩医師会の規定を準用しますので、減免を希望される場合はその旨お申し出頂くことになりました。

以上 — 承認 —

◎東京都医師政治連盟西多摩支部

1. 昭和62年度会計報告 …大塚会計

— 承認 —

◎西多摩医師会互助会

1. 昭和62年度会計報告 …大塚会計

— 承認 —

◎西多摩乳児健診診査医会

1. 昭和62年度決算の承認を求める件
(監査結果報告) …坂本医会会長

— 承認 —

2. 檜原、奥多摩の赤字に対する他地区よりの支援

— 承認 —

◎T M M A 西多摩支部

1. 昭和62年度会計報告 …波田野会計

— 承認 —

文責 大塚 栄二



5月定例理事会

昭和63年5月24日(火) P.M. 7:30

西多摩医師会館講堂

議事録署名人 { 大堀理事
道又理事

1 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告

西村会長

1. 社会保険診療報酬課税の特例の存続について

各医師会で推薦議員に対し働きかけを行ってほしい。

2. 昭和63年度在宅難病患者訪問診療事業実施について

3. 医療廃棄物について

“これからの医療廃棄物について”というパンフレットが、JMSという会社から出廻っているが、その中に、「この度東京都より行政指導の通達がありました通り医療廃棄物は危険廃棄物として、一般ごみと分別して特別に回収処理することになりました」とあり、あたかも行政指導によって、この様に行わなければならぬ様な文章になっている。本来は迷惑をかけぬ様に処理すればよろしいということになっており、文言の訂正を、この会社に申し入れた。

4. 都立高校学校医ブロック連絡会開催について

都立高校をブロックに分け西多摩は西多摩ブロックに入る。6月25日(土)八王子市民会館で開催される。

5. 第11回日本プライマリーケア学会について

6. 東京都保健医療公社発足について

公社発足により東京地域病院及多摩南部地域病院が設立される。東京都が2億、東京都医師会が1千万円出資する。オープンシステム型の病院であり地区の医師会長が院長、副院長となり従来型の病院とは性格の異った21世紀型の病院となっている。

(2) 三多摩会長会議報告

保険点数の改正に伴い業者に委託する臨床検査の料金も変わってきている。武蔵野市医師会のように自前で臨床検査センターを持っているところではその料金の多寡がその存続を左右する場合もあるので、調査を行ったところ高いところで業者80%、安いところでは40~50%値引きをるところもある。この辺のところを考慮して業者との話し合いをした方がよいとの発言もあった。

2 協議事項

(1) 医道審議会の答申について

昭和63年5月18日付西医発No.36をもって西村西多摩医師会長より、西多摩医師会医道審議会に「会員に対する身分の取扱いについて」という山下文雄先生の所得税法違反についての諮問。

5月23日医道審議会が開催され翌24日に答申。

嘆願書の件については、西多摩医師会医道審議会の答申の通り5月30日東京都医師会医道審議会に西村会長出向の際、嘆願書を持参する。 — 承認 —

(2) 入退会会員

— 承認 —
文責 大嶽 栄二

6 月定例理事会

昭和63年6月8日(水) P.M. 7:30

西多摩医師会館講堂

議事録署名人 { 野村理事
唐橋理事

西村会長

1 報告事項

- (1) 5月30日東京都医師会医道審議会に山下先生を同道して出席。西多摩医師会医道審議会で出た結論を話し、その資料を提出。
- (2) 地域医療委員会が開かれ委員長は植田稔先生に決定。その席上、秋留台病院の増床適否について文書で諮問。
- (3) 休日救急委員会が開かれ委員長は宮川栄次先生に決定。
- (4) 東京都地域医療計画が本年度中に出来るが、その骨子が今月末か来月始めに出来上るという話をきいているので、東京都の地域医療計画実務担当者との間で地域医療計画事前打合せ会を6月23日に開催する。都医より小松理事も出席。
- (5) 福生病院増築計画(増床はしない)が大久保院長より書類で届けられている。

委員会報告

産業医部 高木理事

5月25日東京労働保険医療協会評議員会が開かれ新しい役員の選出が行われた。

5月分より労災協定料金が改正された。

2 協議事項

- 入退会会員 — 承認 —
- 昭和63年医療経済動態モニターの委嘱。
秋留台病院が9月任期切れになるのでそれに替る医療機関の選定。これは詳しい資料がきてから検討。— 承認 —
- 青梅西中学校校医
野村有信先生→江本虎雄先生
— 承認 —

3 フリーターキング

- (1) 「医療協」の議題について
昨年行われた「医療協」では子宮体癌検診ヘルス事業休日準夜の手当が議題として取上げられた。子宮体癌については羽村では63年度、八王子、多摩では64年度実施が予定されている。今回の議題

は何にするか検討をお願いします。

(大塚)

子宮体癌検診については東母三多摩連合会では積極的で、来年遅くとも再来年には足並みを揃えてやろうとしている。

(道又)

子宮体癌検診を市町村がやるかやらぬか、又料金の問題等も未だ確定したことはないよだから東母西多摩支部の方で、話をつめてもらいたい。(西村)

ヘルス事業については、各市町村で実施している検査項目は、まちまちであるので、一度調査をしておく必要がある。

(西村)

各市町村での検診を個別でやるか、集団でやるか大変むづかしい問題である。個別でやっているところでは、多人数の検診者が来るところと、少人数しか来ないところがあり、規模の大きいところではそれでもよいが、少人数しか来ないところでは、むしろ集団でやって1回の出勤手当の増額を計る方向に持っていく方がよいという考え方もある。(足立)

休日準夜の手当の問題については、各自治体の財政基盤は特異性があるので自治体単位で決めるのも止むを得ない。将来は統一した料金にするのは結構。一番高いところに合わせる様にすべきだ。自治体との提携事業での報酬は、医師の経営が悪化してきている現在、所得の重大な部分を成していることを指摘。(野村)
統一価格にすべきだと思う。

(湯川、高木)

西多摩医師会の主張でブロック単位で、スケジュールを組むことを決めた筈だし同じ医師会が関与して、同じスケジュールの中での行動であり、又受持つ対象者が同じである、この様なものが料金で違うというのはおかしい。(松原)

今回の医療協の議題は昨年と同じものでやることに決定。

(2) 老人保健施設について

老人保健施設の性格は在宅ケアとの間で行われるキャッチボールであるべき

なので、老人病院と中間施設の間でのキャッチボールになってしまっているはいけない。常に満杯の状態になっているのは、地域のための中間施設としての機能が、果せなくなる。(松原)

老人保健施設は在宅ケアの一部又は延長として考えたい。入所の場合も主治医はそのまゝが望ましい。(大嶽)

医師会と中間施設との間に話し合いの道をつけておくことが必要であろう。運営面でも何か医師会として協力出来るものがある。(円山)

推進協(西多摩地域保健医療推進協議会)の中で問題提起をして行政との間で話しておくことも必要であろう。23日

の都の地域医療担当者との会合で地域医療計画の話聞いた上で、同時にこの問題についても話をし、正式に推進協の場へ話を持っていきたい。(西村)

以上フリートーキングの抜粋であるが、S.61年度厚生省補助事業としての全国7ヶ所の「モデル老健施設」試行期間が終り4月より、本格的に老健施設事業が実施されたので、当然のことながら老人保健施設設置は西多摩に於て始めてのケースであり、又民間の施設ということもあり慎重で十分な検討及対応が必要であるとの意見が大多数であった。

文責 大嶽 栄二

地域医療委員会報告

1. 第1回委員会開催 6月3日(金)

委員長 植田 稔

副委員長 佐々木 章

” 村山 正昭

上記の通り委員会で選出しました。

東京都医師会地域医療委員会方式で、林 實理事が担当理事として役員会と委員会の連絡の任に当たる。

検討議題：西多摩医師会会長諮問(秋留台病院増改築について)を検討した。

2. 第2回委員会 6月9日(木)

議題：秋留台病院増改築について

井村進一院長の説明を受けた後、検討する。

第3回委員会は6月23日(木)開催の予定です。(文責 林 實)

三多摩地区医師会広報研究会

6月10日(金)武蔵野市医師会館において開催された。今回は特に議題がなく各医師会毎に実施している広報活動の状況や現在抱えている悩み等について報告及び話し合いを行った。

12地区医師会及び東京都医師会より活発な意見が出され特に会報に関するものが多かった。会員の多い医師会では、月1回会報を出しているが、会員が読んでくれるような会報にするにはどうしたらよいか最大の問題の様であった。そのために活字の大きさや段数変更を行ったり、親しみが持てる様な記事を増やしたり上意下達になり易い所をいかにして下意上達の形にもっていくか等々を考えて

いるようである。又会員の少ない医師会では年数回の会報発行を行っているところが多いが、最大の悩みは、原稿集めが大変だということと、会報への予算が少ないということの様である。対外広報に関しては多くの医師会で、市の広報紙に投稿の欄を設けておりP.Rを行っている。最後に都医師会より発言があり、

- ① 広報は各医師会にとっては重要な部門であるので十分な予算をとってもらいたい。
- ② 20年誌等では歴史的なことは会員が老化していくので早めに話を聞いておくとか、問題を早めに処理しておく。

- ③ 原稿を集めるには順番を決めてやるのもよい。しつこくやる必要がある。
- ④ 対外広報では、市の広報を利用することがよい。テレホンサービスも有効であろう。
- ⑤ 医療最前線をP.Rしてもらいたい。
- ⑥ 近くの公立の病院とコミュニケーション

をつけて、病院と医師会で互いに宣伝し合う様な形にしたり、生涯教育の病診連携の道をつけたりすることも必要である。
 今回は11月開催することで、会は終了した。

大嶽 栄二

西多摩医師会西多摩三保健所懇談会開催される

5月26日(木)福生市内の福わ家に於て、西多摩医師会より正副会長、総務部三ブロック会長。保健所側は、青梅保健所吉田所長、福生保健所より木下所長、早川予防課長、荒牧衛生課長、五日市保健所より松原所長、山崎衛生課長が出席され、和やかに懇談会が開催された。席上西村会長と保健所を代表して吉田青梅保健所長より、それぞれ挨拶があり

保健衛生業務に関して特に、これから始まる在宅難病患者訪問診療事業、保健所保健福祉サービス調整推進会議等の問題について互に協力していくことが必要であるとの認識で一致した。

今後とも地域医療活動を進めていくうえで、保健所との友好的な関係を保つことは最も大切なものの1つであると考えられるので、真に有意義な一夕であった。

大嶽 栄二

「さみだれ月」 小泉新策

重たげに紫陽花の
 弱々と咲く 釣舟の
 咲く庭隅に
 黄

眞真に 伸びて繁れる
 元より 眞紅の花
 咲き昇る
 立菱

うす曇り 筒鳥の
 声 かすみで見ゆる
 かすかにきこゆ
 奥山に

山脉は 緑深まり
 なかに 際だつ山帽子
 一色に
 眞白し

税制の改革の
 こたびは事実
 一つの医療制度
 手つかずの如し

特別措置法の
 現時点とて 施行の
 理由 解消せずば

日に日に 患者を
 とうむこともなく
 友と思ひて 語らう

園児等の 笑顔を
 迎うる思ひては
 保育園検診

学 術 部 回 顧 録

塩 澤 永 康

今般、満65才になり加齢したこと、マナー化して来た2点により、勇退させて頂きました処、大嶽先生より会報に投稿する様にとのお話がありましたので、少しでもお役に立てばとお引き受けした次第です。

故瀬戸岡前会長時代に2期、西村会長時代に1期計3期6年間、学術部長として大過なく無事にその任を務めさせて頂きましたことは役員、委員の先生方を初め会員の先生方のご協力とご鞭撻の賜物と心より深く感謝致しております。

ほっとして、過去6年間を緋いて見ますと、昭和57年度は東先生の跡を受け継ぎ、その方針、講演会、研究会、勉強会の三本柱を維持するのに夢中で過しましたが、会員の先生方がテーマ、講師、曜日、時間、場所等について、希望しているかを知り、今後の活動の資料にするため、アンケート調査を行いました。

昭和58年度は、アンケート調査を踏えて編成しましたが、講師選定に困り問屋さん、プロパーさんの意見を参考に協賛をも兼ねお願いしました。有名な講師をお願いしても期待した程でなかったこともあり、助教授、講師クラスで実際に仕事をしている人がよいと考え、実際に講演を拝聴してよいと思った先生をお願いすべきことに気付き、日本医師会、都医師会、メーカー、モダンメジシン、メデカルコア、チーム医療、東京保険医協会、学会等の主催の講演会に時間の許す限り出席するように心掛け、時には1日に2ヶ所、京都、横浜へと耳学問をして、これらと思うものをピックアップして協賛したメーカーを通じ、あるいは直接講師をお願いしてお招きしました。

昭和59年度は、運営に関し、副部長の足立先生に研究会を担当して頂き、勉強会のA会員は、松原先生に、B会員は、石井先生に夫々担当をして頂き、分担する様になりました。運営面に気を配りました。

昭和60年度は、講演会、研究会〔シリー

ズもの：57年度、呼吸器系、58年度、肝臓（東大）、59年度、老年医学（杏林）、60年度、消化器系（杏林）〕勉強会の三本柱で行って参りましたが、医師会は社団法人で、地域住民に貢献すべきものであり、又、医師会のイメージアップを考えて一般大衆向けの講演会、医療に協力してくれる方々の向上と理解と懇親を兼ねて、コ・メデカル向けの講演会、一方通行の講演会を脱する一つの方法として講習会の3種類を新たに企画しました。運営に関しては、委員の先生にも平等に担当して頂き、案内状、会報に講演要旨を書いて頂くようお願いしました。

昭和61年度は、生涯教育が叫ばれ、日本医師会のガイドラインに従い、全人的の立場より一般教養2回を加えたこと。体験学習の第一歩として、基幹3病院（阿伎留・青梅・福生）の先生方と昵懇になるため、研究会をシリーズものでなく、各病院、各科で担当して頂くように変更しました。気分を変えるため会場を変えても見ました。

昭和62年度は、講演会を開くだけでなく、自分自身の体験を発表して頂く勉強会をA会員、B会員各1回加えて4回にし、28回にしました。1月、8月は休講にして、月平均3回にしました。但し、12月と3月は2回日本医師会の生涯教育申告年間50時間以上に適うためのものでもありました。

会員の先生方に選択して予定に組み入れ易いように、又、講師をお願いする時に当方の希望時期に叶え易い利点があるため、1年間のスケジュールを61年度は4月に、62年度は3月に発表しました。

出席者の少いことが歴代の部長さんの悩の種であったのですが、61年度は目標とした30～40名の数に達し喜んでおりましたが62年度は回数が多かったことと、テーマが、内科以外の科を意図的に多くしたためか再び減少したことは残念でした。

もう一つ、残念なことは、生涯教育委員会

(8)

を設立ただけで、何に一つ具体的に仕事が出来なかったことです。どうか、体験学習が一日も早く、一人でも多く参加出来 有効に活動出来ます様にお祈り致します。

講演内容の評価に関しては、アンケートによりますと 90%は満足頂けたようです。

スポンサーの件については、会場の整備、スライド、講師の送迎をお願いして大変助りましたが、全部おんぶしてしまうと借りが多くなるので、62年度は控えました。

会場に関しては、61年度は、羽村がほぼ中央にありよいかと考え、羽村町保健センター、コミュニティセンターにして見ましたが、会場を間違えた人も出ましたので中止しました。

予算に関しましては、充分頂きましたが、62年度は、不足して、2回はかり削りましたが、63年度は、十二分にあります。

ビデオデッキに関しましては、VHSも購入して頂けることになりました。今後、講師の先生に迷惑をかけることもなくなり一安心しました。十分に活用を期待致します。

運営に関しては、各担当の委員の先生、古屋事務長、青木・小山事務員、若林さんに深夜までご協力を頂き、スムーズにできましたことを感謝致します。

プロジェクター購入に際し、川辺先生のご助言を頂き、素晴らしいものを入手できたこと、スライド係を、川辺・野本両先生にして頂いたこと、小生、尿路結石のため、出席できなかった時、足立・松原・鈴木修各先生にして頂いたこと、「第一回西多摩医学講演会」の名

称を堤先生に相談に行ったこと。この講演終了時講師の東邦大心療内科の筒井教授に聴衆の少ないことをお詫びした時、「初めてのことからでしょう。だんだん知れて来れば多くなるでしょう。」と逆に励まされたこと等々走馬燈のごとく色々浮んでまいります。

宮川部長先生初め、大堀、木村、真鍋、～各委員の先生方仲よく協力し合って、

- 1) 医学の進歩に遅れないように
- 2) 日常よく遭遇する疾患を整理し、最近の考え方や診断と治療に関するテーマ
- 3) 三基幹病院の先生方と親密になり協力し体験学習、病診連携の実を挙げる
- 4) 教養講座を継続する
- 5) コ・メデカルと協力関係を作る
- 6) 一般向け学術講演会を継いで、医師会のイメージアップを計る
- 7) ミニ多摩医学会形式のものを開催する

63年度の事業計画に先生方の若々しいアイデアを加味して、会員は勿論のこと地域住民のためにご健闘下さるようお願いいたします。

最後に、特に、講演終了時に講師への謝辞の労を毎回取って下さった松原先生、生涯教育に色々ご援助下さった大塚先生の両副会長先生に、学術委員、生涯教育委員の先生方に重ねて感謝の意を捧げます。

尚、私ごとで恐縮ですが、私の信条である五つの誓いの言葉の内の一つである。

「今日一日は、出来るだけ人のために奉仕させて頂きます。」

を 私なりにできましたことを喜びとして、辞任の責を取らせて頂きました。

6年間 本当にありがとうございました。

S.57年～62年 出席者数

年度 種類	S.57年			S.58年			S.59年		
	回数	出席者数	平均	回数	出席者数	平均	回数	出席者数	平均
講演会	6 ^回	147 ^人	24.5 ^人	9 ^回	216 ^人	24.0 ^人	6 ^回	127 ^人	21.2 ^人
研究会	4	88	22.0	5	126	25.2	5	137	27.4
勉強会	5	30	6.0	2	35	17.5	2	37	18.5
合計	15	265	17.7	16	377	23.6	13	311	23.9
年度 種類	S.60年			S.61年			S.62年		
	回数	出席者数	平均	回数	出席者数	平均	回数	出席者数	平均
講演会	9 ^回	206 ^人	22.9 ^人	10 ^回	327 ^人	32.7 ^人	10 ^回	195 ^人	19.5 ^人
研究会	4	100	25.0	5	173	34.6	9	158	17.6
勉強会	2	39	19.5	2	54	27.0	4	79	19.8
講習会	3	97	32.3	3	80	26.6	2	31	15.5
一般教養	0	0	0	2	44	22.0	1	17	17.0
コ・メデ カル向	1	46	46.0	1	29	29.0	1	12	12.0
一般大衆向	1	25	25.0	1	16	16.0	1	27	27.0
合計	20	513	25.7	24	723	30.2	28	519	18.5

6年間の延出席者数 2,708人 年間平均451人

尚、参考までに各年度の一覧表を添付致しました。

昭和 57 年度 学術部事業活動報告

S.58. 2. 21

(10)

	月	日	曜日	テーマ	講師	協賛	出席(名) /回答(名)	評価(名)	会報
講演 演 会	4	22	木	初期診療(5回) 胸痛	聖路加国際病院 内科医長 五十嵐 正男	持田製薬	22 / 33	/	塩澤
	6	16	水	乳児健診 1才6ヶ月児 神経学的診かた	埼玉医大 小児科講師 諸田 啓一	バイエル	33 / 41		村山
	9	21	火	最近の高血圧の診断と治療	三井記念病院 胃センター部長 多川 斉	台糖ファイザー	29 / 34	① 10名 ② 6・(13)	島田
	S.58年 1	25	火	高血圧の最近の考え方	杏林大 成人保健センター 助教授 佐藤 喜彦	三 共	26 / 20	① 10名 ② 4・(12)	鈴木
	2	15	火	検査データの読み方 症例を中心としたRCP C	自治医大 臨床病理 教授 河合 忠	三 共	37 / 26	① 12名 ② 6・(19)	清水
	3	24	木	抗生物質	杏林大 第一内科 助教授 小林 宏行	富山化学	/	① ②	栗原
研 究 会	10	14	木	(1回) 呼吸器疾患シリーズ 気管支喘息の診断と治療	昭和大 第一内科 講師 中島 宏昭	東京田辺	25 / 38	① 14名 ② 2・(9)	窪田
	11	25	木	(2回) 呼吸器疾患と心身症	日大 第一内科 講師 桂 載作	三和化学	24 / 31	① 12名 ② 2・(10)	足立
	12	14	火	(3回) びまん性汎気管支炎	昭和大 第一内科 講師 足立 満	大日本製薬	20 / 21	① 2・② 5・ ③ 1・(12)	市原
	S.58年 1	21	金	(4回) 肺癌の診断と治療	結核予防会 結核研究所病院 第一外科科長 小山 明	協和醸酵	19 / 18	① 10・ ② 2・(7)	加藤
漢 方	5	11	火	(2回) 保険診療と漢方	鹿島正安	ツムラ順天堂	8 / 13	/	
	10	13	水	(1回) 治療に役立つ漢方	白十字病院 内科部長 野村 新	"	7 / 7		
	11	11	木	(2回) " "	" "	"	10 / ?		
	12	9	木	(3回) " "	" "	"	5 / 8		
S.57年4	20	火	(1回) 保険診療と漢方	鹿島正安					

① 大変よかった 無回答()
 評価 { ② よかった。
 ③ 期待したほどではなかった。

※ C P Cが開催されなかった(3回実施の予定であった)

No.187

昭和 58 年度 学術部事業活動報告

S.59. 2. 22

No.187

	月	日	曜日	テ - マ -	講 師	協 賛	出席(名) /回答(名)	評 価 (名)	司会・挨拶
講 演 会 (9 回)	4	21	木	1. 尿路感染症及び血尿 (膀胱腫瘍、前立腺癌)	共済立 立川病院 泌尿器科医長 長久保一朗	大日本製薬	34 / 30 113.3	① 10 ② 7 ③ 1・(16)	塩澤・瀬戸岡
	6	17	金	2. 老年期痴呆をめぐって	聖マリアンナ医大 精神 神経科教授 長谷川和夫	田 辺 製 薬	31 / 35 85.7	① 14 ② 4・(13)	塩澤・江本
	7	12	火	3. 気管支喘息における最近の治療	同愛記念病院 内科(アレ ルギー)医長 渡辺勝之延	サ ン ド 三 共	25 / 27 92.6	① 6 ② 3 ③ 4・(12)	塩澤・大河原
	9	27	火	4. HBS抗原について	八王子赤十字血液センター 副所長 福原今朝雄	(公衆衛生)	16 / 26 61.5		松原
	10	28	金	5. 乳癌の診断と治療	共済立 立川病院 副院長 外科 佐藤 孝次	森 永 乳 業 (産婦人科医会)	23 / 22 104.5		塩澤・近藤
	11	11	金	6. 内臓疾患と皮膚症状	北里大 皮膚科 教授 西山 茂夫	三 共	32 / 25 128.0		塩澤・足立
	11	25	金	7. 大腸ポリープ 早期大腸ガンX線診断	国立がんセンター 放射線診断部 牛尾 恭輔	化 研 生 薬	18 / 22 81.8	① 5 ② 2・(11)	塩澤・大河原
	12	13	火	8. 膠原病の診断	聖マリアンナ医大 第一医科教授 東 威	台糖ファイザー	17 / 21 80.9		塩澤・鈴木
	S.59年 1 17	火	9. 膠原病の治療	同 上	同 上	同 上	20 / 15 133.3	① 9 ② 5 ③ 1・(5)	塩澤・瀬戸岡 江本
研 究 会 (5 回)	5	13	金	1. 肝機能検査の読み方 アルコール肝障害について	東大 第一内科教授 岡 博	日本ケミファ	34 / 36 94.4	① 14 ② 4・(16)	塩澤・坂本
	6	24	金	2. 急性肝炎、劇症肝炎	藤 原 研 司	同 上	27 / 36 75.0	① 7 ② 2・(18)	塩澤・塩澤
	7	22	金	3. 慢性肝炎・薬物性肝炎	林 茂 樹 尾 形 逸 郎	山 之 内	16 / 25 64.0	① 3 ② 7 ③ 1・(5)	塩澤・鈴木
	9	16	金	4. 肝硬変、肝細胞癌	太 田 裕 彦 佐 藤 彦 謙	三 和 化 学	27 / 29 93.1		鈴木
	10	21	金	5. 胆嚢・胆道疾患	田 中 直 見	東 京 田 辺	22 / 24 91.7		塩澤
勉 強 会	2	15	水	1. 症 例 検 討	(東部) 西村、松原、村山 15 / 15 (西部) 足立、市原 19 / 20		342 / 373 91.7		
	3	13	火	2. 同 上	3病院(青梅、福生、阿伎留)				

- ・多摩医学会 12月3日(土) 富士銀行立川支店 西多摩は7医療機関報告
- ・多摩消化器エコー研究会 10月13日、11月10日、1月12日 北多摩医師と共催
5回シリーズ 2月9日、3月17日(土)

() ① 大変よかった 無回答()
共同主催 評価 { ② よかった
○パンフレット ③ 期待したほどではなかった

(11)

	月	日	曜日	テ - マ -	講 師	協 賛	出席/回答	評 価	司会・挨拶
講演会 (六回)	4	17	火	高血圧治療の最近の動向	慶応大学医学部 内科講師 猿田 享男(タカオ)	アイシーアイ ファーマー	26 / 29	/	塩澤・西村
	5	15	火	臨床検査の最近の動向と問題点	埼玉医大 生化学教授 坂岸 良克(ヨシカツ)	エ - ザ イ	37 / 34	① 3 ② 7 ③ 3・(24)	塩澤・大河原
	6	15	火	糖尿病の診断と治療	東京女子医大 第三内科 教授 糖尿病センター部長 平田 幸正	東京田辺製薬	42 / 31	① 20 ② 1 ③ 0・(21)	塩澤・西村
	12	13	木	自律神経失調症と漢方	近畿大学薬学部 助教授 久保 道德(ミチノリ)	福神高麗蔘興業	5+2/10	① 4 ② 1 ③ 0・(2)	塩澤・近藤
	S.60年 1	24	木	日本人動脈硬化の病態と 診断手法から見た治療概念	東邦医大 中検部長助教授 長谷川元治(モトハル)	エ - ザ イ	15 / 19	① 2 ② 1 ③ 0・(13)	塩澤・大河原
	3	26	火	最近の抗生物質療法の実際	慈恵医大 宮原内科講師 柴 孝也	日本ワイス	/	① ② ③	塩澤
研究会 (五回)	7	12	木	整形外科領域に於ける老人病	杏林大医学部 整形外科教授 河路 渡	日本ワイス	27 / 26	① 6 ② 3 ③ 0・(16)	足立・江本
	8	24	金	老年者の消化器疾患	杏林大医学部 第二外科 教授 鍋谷 欣市	三和化学	21 / 35	① 8 ② 3 ③ 2・(14)	足立・瀬戸岡
	9	20	木	老年者の精神疾患	杏林大医学部 精神科 教授 武正 建一	三 共	32 / 30	① 6 ② 8 ③ 0・(18)	足立・江本
	10	23	火	老年者の循環器疾患 一危険な不整脈の診断と治療一	杏林大医学部 第二内科 教授 石川 恭三	日本ワイス	31 / 31	① 13 ② 2 ③ 0・(16)	足立・坂本
	11	20	火	老年者の呼吸器疾患 特に肺癌を中心に	杏林大医学部 第一内科 教授 小林 宏行	日本ワイス	26 / 16	① 9 ② 2 ③ 0・(15)	足立・西村
勉強会	11	13	木	① 初診時見落した骨折例 ② インターフェロンで治療したB型肝炎例 ③ レ線上的胃病変の深達度について	南部: 栗原 琢磨 西部: 市原 靖 } A会員 東部: 渡辺 良友	/	20 A 19 B 1	/	松原
	S.60年 3	14	木	① 小児神経疾患 ② 小児糖尿病の1例 ③ 当院での肺癌症例を中心に	阿伎留: 平沼 俊内 青 梅: 米沢美保子(小) } B会員 福 生: 斎藤 謙小	/	17 A 8 23 B 9	/	石井

評 価 ① 大変よかった ② よかった ③ 期待したほどでなかった () 無回答

昭和 60 年度 学術部事業報告

S.61. 3. 22

	月	日	曜日	テ - マ -	講 師	協 賛	出席(名) / 回答(名)	評 価	担当者	司 会	
講 演 会 (五回)	メ ー カ ー	4	9	火	最近の高血圧治療	順天堂大学医学部腎臓内科 講師 吉田 政彦	ヘキストジャパン	26 / 21	① 6 ② 1 ③ 0・(19)		塩 澤
		4	26	金	小児における抗生物質の使い方	国立小児病院 副院長 堀 誠	住 友 製 薬	25 / 27			〃
		5	14	火	アレルギー性疾患に対する漢方療法	共済組合立 立川病院 小児科医長 甲賀 正聡	ツムラ 順天堂	10 / 6			〃
		10	30	水	腰痛の鑑別診断 特に骨粗鬆症を中心として	東京都養育院付属病院 内分泌科 白木 正孝	東 洋 醸 造	20 / 11	① 10 ② 3 ③ 0・(7)		〃
		61年 2月	13	木	花 粉 症	日本医科大学耳鼻咽喉科 教授 奥田 稔	三共サンド薬品	30 / 27	① 12 ② 1 ③ 0・(24)		〃
講 習 会 (三回)	メ ー カ ー ・ 医 師 会	9	20	金	心電図と臨床(1) 虚血心一般	青梅市立総合病院 内科医長 坂本 保巳	エ - ザ イ	37 / 22	① 12 ② 1 ③ 0・(24)	村 山	塩 澤
		10	18	金	心電図と臨床(2) 狭心症	同 上	〃	34 / 26	① 11 ② 1 ③ 0・(22)	〃	〃
		11	22	金	心電図と臨床(3) 心筋梗塞	同 上	〃	26 / 16	① 13 ② 2 ③ 0・(15)		〃
講 演 会 (四回)	医 師 会	6	25	火	小児における整形外科で 一般臨床医の知っておくべきこと	杏林大学医学部 整形外科 教授 河路 渡	エ - ザ イ	27 / 25	① 16 ② 1 ③ 0・(10)	平 尾	塩 沢
		10	15	火	どのような場合に超音波検査は 有用か(腹部救急疾患を中心に)	東京大学医学部第一外科 医局長 跡見 裕	三 共	30 A 21 B 9 / 32	① 7 ② 4 ③ 0・(19)	野 本	〃
		11	12	火	頭 痛	東京大学医学部脳神経外科 助教授 間中 信也	吉 富	22 / 15	① 12 ② 2 ③ 0・(8)	木 村	〃
		11	29	金	小児の救急医療について 特に小児における急性腹症	杏林大学医学部第一外科 講師 伊藤 泰雄	住 友 製 薬	16 / 18	① 4 ② 7 ③ 0・(11)	湯 川	〃

	月	日	曜日	テーマ	講師	協賛	出席(名) /回答(名)	評価	担当者	司会
研究会(四回)	5	28	火	上部消化器癌の早期診断とその予後	東海大学医学部 外科 講師 幕内 博康	三 共	34 / 24	① 4 ② 7 ③ 1・(23)	石井	足立
	6	18	火	大腸癌とその前癌病変	杏林大学医学部 第一外科 講師 八木田旭邦	〃	24 / 27	① 4 ② 7 ③ 2・(11)	村山	〃
	7	23	火	消化器疾患のプライマリケアー	帝京大学医学部 第一外科 講師 花上 仁	〃	21 / 16	/	市原	〃
	9	10	火	消化性潰瘍の治療	杏林大学医学部 第一外科 助教授 北島 政樹	〃	21 / 17	① 3 ② 4 ③ 0・(14)	小林	〃
パラ 一般	7	11	木	近年問題になっている有害な動物	東京医科歯科大学 医学部 医動物学教授 加納 六郎	/	84 / 48 (46) 会員	① 57 ② 6 ③ 0・(21)	塩澤	塩澤
	9	27	金	ストレスと健康	東邦大学医学部 心療内科 教授 筒井 末春	/	78 / 30 (25) 会員	① 42 ② 14 ③ 1・(21)	〃	〃
勉 強 会 (二回)	61年 2	25	火	① 外来における超音波検査 ② 登校巨否について ③ 先天性股関節脱臼について	野本医院 野本 正嗣 横田小児科 横田 博 稲垣整形外科 稲垣壮太郎	/	22 / 17	/	松原 (塩澤)	松原 (塩澤)
	3	13	木	① 当院における胆石症治療の現況について ② 微小変化ネフローゼにおける急性腎不全症例について ③ 伝染性単核症の一例	阿伎留病院外科 菅井 義久 青梅総合病院腎センター 柴山藤二郎 福生病院小児科 斉藤 譲	/	17 / 21	① 3 ② 1 ③ 0・(13)	石井	石井

計	513 / 446	回数	出席者	平均
講演会		9回	206名	22.9
研究会		4	100	25.0
講習会		3	97	32.3
勉強会		2	39	19.5
コ・メディカル向		1	46	46.0
一般向		1	25	25.0
計		20	513	25.7

評価 ① 大変よかった。② よかった。③ 期待したほどでなかった。()無回答

担当者 1. 話題を提供する。2. 講演内容の概要を会報に掲載する。

会場 西多摩医師会館 講堂

但、パラメディカル向：羽村町保健センター。一般向：羽村町コミュニティセンター(じゅらく苑)

多摩医学会 昭和60年11月30日(土) P.M.1:30~富士銀行立川支店 3F講堂(第61回)

当医師会は16題中7題発表(医師会、青梅、福生、阿伎留、目白第二、高木各病院)

石井理事は座長

§ 第一回西多摩医学講演会(一般向)・第二回コ・メディカル向講演会開催された。少なくとも年一回開催の強い要望多数あり、今後医師会の恒例の事業としたい。 雑費

§ 講習会：講師が会員であり、有意義で大変好評であった。 ●一般向 ¥36,180.-(食事代・書き代・会場費

§ 一人当たりの経費：¥1,105,397.- ÷ 513 = ¥2,155.- ●コ・メディカル向 ¥7,000.-(食事代) 他)

協賛メーカー：三共(6回)、エイザイ(4回)、住友製薬(2回)、ヘキスト・サンド薬品・ツムラ順天堂(各1回)講師の食事・送迎他

昭和 61 年度 学術部事業報告

S.62. 3. 24

	月	日	曜日	テーマ	講師	協賛	出席(名) / 回答(名)	評価	挨拶	司会	
講演会 (八回)	メー カ ー	4	10	木	慢性膵炎の診断と治療	都立府中病院 内科 医長 加賀谷寿孝先生	小野薬品工業	22 / 23	① 9 ② 4 ③ 0・(9)	松原	塩澤
		4	24	木	I型アレルギーの診断と治療	国立相模原病院 顧問 塩田 浩政先生	キッセイ薬品工業	19(A)19 (B) 0	① 7 ② 3 ③ 2・(7)	大塚	塩澤
		5	16	金	呼吸器感染症の現況	公立昭和病院 呼吸器科 主任医長 鈴木 俊光先生	杏 林	20(A)19 (B) 1	① 6 ② 6 ③ 1・(7)	大塚	塩澤
	医 師 会	6	26	木	高血圧症の治療と問題点	東京大学医学部 第二内科 助教授 石井 常男先生	山之内	41(A)39 (B) 2	① 11 ② 9 ③ 0・(21)	松原	塩澤
		7	9	木	免疫について(Ⅰ) 基礎篇	東京医科内科大学医学部 小児 科教授 矢田 純一先生	/	47(A)39 (B) 8	① 21 ② 3 ③ 0・(23)	松原	塩澤
		7	24	木	” (Ⅱ) 臨床篇	同上		44(A)39 (B) 5	① 17 ② 4 ③ 0・(21)	松原	塩澤
		9	11	木	開業医における糖尿病食事指導のコツ	一ツ橋診療所 所長 守屋美喜雄先生	大日本	40(A)36 (B) 6	① 15 ② 4 ③ 1・(20)	松原	塩澤
7	21	木	集団検尿の実際と腎疾患の管理について	日本医科大学 小児科 講師 村上 睦美先生	東京都予 防医学協会	47(A)38 (B) 1 (㉟) 8	/	松原	東		
コ ー プ 会	5	23	金	ターミナルケアについて	日本大学医学部 第一内科 教授 岡安 大仁先生	/	101(A)22 (B) 7 (15)(N)57	① 52 ② 20 ③ 1・(27)	西平	村沼 塩澤	
	9	25	木	食生活と健康	同愛記念病院 栄養管理室 室長 佐野 倫子先生		60(A)16 26 (一般)18	① 15 ② 10 ③ 0・(35)	西松	村原 塩澤	
研 究 会 (五回)	6	13	金	三病院における胃癌症例について 特にA会員紹介の胃癌症例	福生病院 諸角強史先生 阿伎留病院 佐藤 恵先生 青梅総合病院 山川佳二先生	/	46(A)31 (B)15	/	西村	渡辺	
	9	19	金	胃癌取扱い規約と私の経験談	青梅市立総合病院 院長 星 和夫先生		35(A) 2 (B)33	① 11 ② 5 ③ 1・(18)	松原	渡辺	

M187

(15)

	月	日	曜日	テーマ	講師	協賛	出席(名) /回答(名)	評価	挨拶	司会
研究会 (五回) 会	11	22	木	一般医が知っておくべき小外科について	青梅市立総合病院 外科 部長 宇田 東平先生	/	31 (A) 30 (B) 1	① 13 ② 3 ③ 0・(15)	大塚	野本
	11	19	木	乳児健診について	青梅市立総合病院 小児科 部長 林 良樹先生		31 (A) 26 (B) 5	① 9 ② 6 ③ 1・(15)	松原	村山
	62年 2	10	火	貧血について	阿伎留病院 内科 西成田 進先生		30 (A) 26 (B) 4	① 12 ② 2 ③ 0・(16)	大塚	林
講習会 (三回) 会	10	30	木	心電図の読み方 (I)	青梅市立総合病院 内科 部長 坂本 保巳先生	エーザイ	28 (A) 27 (B) 1	① 14 ② 1 ③ 0・(13)	/	渡辺
	11	27	木	" (II)	同上	"	27 (A) 26 (B) 1	① 9 ② 0 ③ 0・(18)	/	野本
	12	11	木	" (III)	同上	"	25 (A) 24 (B) 1	① 8 ② 1 ③ 0・(16)	松原	村山
勉強会 (二回) 会	62年 2	26	木	① 糖尿病による眼底所見を中心に ② アルコールと疾病 ③ 三叉神経痛と口腔腫瘍	①真鍋眼科医院真鍋勉先生 ②高木病院 高木敏先生 ③伊奈診療所 木村隆先生	/	24 A 21 B 3	① 8 ② 5 ③ 0・(11)	松原	林
	3	10	火	① 急性心筋梗塞に対する血栓溶解療法 ② 夏型過敏性肺炎の2症例 ③ 最近当院で施行している手術症例について	①阿伎留病院内科 江木 浩先生 ②福生病院内科 佐藤日佐子先生 ③青梅市立総合病院 整形外科渋谷 辰生先生	/	30 A 22 B 8	① 3 ② 1 ③ 0・(26)	松原	平沼
一般教養 会	10	9	木	調和的情報化社会	専修大学商学部 教授 唐木幸比古先生	/	14 A 13 B 1	① 7 ② 2 ③ 0・(5)	松原	塩澤
	11	12	水	医療相談室の窓から見た世相	聖マリアンナ医科大学 助教授 深澤 道子先生	/	30 A 14 B 16	① 16 ② 4 ③ 0・(9)	大塚	塩澤
講演会 (二回) 会	2	18	水	脳血管障害の病態と治療の変遷	浴風会病院 院長 大友 英一先生	三 共	25 A 23 B 2	① 14 ② 2 ③ 0・(7)	松原	塩澤
	3	20	金	一般診療における軽症うつ病 の診断と治療	日本大学医学部 板橋病院 心療内科各員教授 桂 載作先生	日本オルガノン	22 A 20 B 2	① 10 ② 2 ③ 0・(10)	松原	塩澤

11月29日(土)第62回 多摩医学会 P.M. 1:30 富士銀行立川支店 出席A:A会員 B:B会員 N:看護婦 ヨ:養護 ()その他
 評価:① 大変よかった。② よかった。③ 期待したほどでなかった。()無回答
 総計23回 出席者676名(平均29.4名) 費¥1,129,774.- (一人当たり¥1,671.-)

種類	負担	月	日	曜日	演 題	講 師	協 賛	出席者数	評 価	挨拶	司 会
講 演 会 (十回)	メ カ カ カ カ	4	10	金	アレルギー疾患の診断と治療	杏林大客員教授 春名 英彦先生	キ ッ セ イ	16 (A) 16 (B) 0	① 3 ② 3 ③ 0 (10)	松原	塩 澤
		4	16	木	アレルギー性疾患の最近の治療と漢方	共済立川病院 小児科 院長 甲賀 正聡先生	ツ ム ラ	24 (A) 23 (B) 1	① 7 ② 4 ③ 0 (13)	大塚	〃
		5	15	金	整形外科における老人疾患と周辺について 骨粗鬆症を中心に	都立駒込病院 副院長 東 晃先生	中 外	18 (A) 14 (B) 4	① 1 ② 7 ③ 0 (10)	石井	〃
		5	20	水	閉塞性肺疾患に対する 日常診療のポイント	杏林大医学部第一内科 教授 小林 宏行先生	帝 人	22 (A) 21 (B) 1	① 13 ② 2 ③ 0 (7)	松原	〃
		5	28	木	皮フ真菌の治療	日本医大皮フ科 非常勤講師 楠 俊雄先生	バイエル	19 (A) 19 (B) 0	① 12 ② 2 ③ 0 (5)	〃	〃
		6	9	火	脳梗塞の抗血小板療法	杏林大医学部 老人内科 教授 佐藤 喜彦先生	第 一	24 (A) 20 (B) 4	① 5 ② 2 ③ 0 (17)	大塚	〃
	医 師 会	7	9	木	日常遭遇する感染症の治療のポイント	順天堂大医学部感染科 教授 池本 秀雄先生	大 日 本	21 (A) 19 (B) 2	① 9 ② 6 ③ 0 (6)	松原	〃
		7	15	水	ホルター心電図について	聖マリアンナ医大第二内科 講師 三宅 良彦先生	ト ー ア	16 (A) 14 (B) 2	① 7 ② 5 ③ 0 (4)	西村	渡 辺
		10	16	金	高血圧治療における最近の話題と進歩	老人医療センター 副院長 蔵本 築先生	住友製薬	12 (A) 11 (B) 1	① 7 ② 3 ③ 0 (2)	大塚	塩 澤
		11	10	火	日常診療に必要な精神医学の知識	国立精神神経センター武蔵病院 院長 大熊 輝雄先生	吉 富	23 (A) 20 (B) 3	① 7 ② 9 ③ 1 (6)	松原	〃
		研 究 会 (九回)	医 師 会	4	24	金	腰痛について	福生病院整形外科 院長 柴崎 昌浩先生	三 共	18 (A) 17 (B) 1	① 4 ② 3 ③ 0 (11)
6	17			水	湿疹・皮フ炎及び見誤り易い皮フ疾患	浜松皮フ科 院長 浜松 輝美先生	山 の 内	31 (A) 29 (B) 2	① 11 ② 2 ③ 0 (17)	〃	村 山
7	24			金	めまいについて	青梅市立総合病院めまい外来 村主 好弘先生	エイザイ	15 (A) 15 (B) 0	① 2 ② 6 ③ 0 (7)	〃	野 本

種類	負担	月	日	曜日	演 題	講 師	協 賛	出席者数	評 価	挨拶	司 会
研究会 (九回)	医師会	10	28	水	白内障の手術療法	阿伎留病院 眼科 医長 馬話 良比古先生	福 神	12 (A) 10 (B) 2	① 8 ② 0 ③ 0 (4)	松原	木 村
		11	25	水	更年期障害を主とした婦人の不定 愁訴症候群の治療について	青梅市立総合病院 副院長 内田 智先生	持 田	16 (A) 15 (B) 1	① 6 ② 4 ③ 0 (6)	"	佐々木
		12	18	金	くも膜下出血の治療のねらい	青梅市立総合病院 脳神経外科 部長 宮崎 崇先生	福 神	17 (A) 12 (B) 5	① 10 ② 1 ③ 0 (6)	塩澤	渡 辺
		63年 2	17	水	内科から見た慢性関節リュウマチについて	青梅市立総合病院 内科 桜井 徹志先生	"	14 (A) 13 (B) 1	① 7 ② 0 ③ 0 (7)	松原	野 本
		2	26	金	学校検尿について	阿伎留病院 小児科 科長 正木 忠明先生	"	17 (A) 12 (B) 5	① 7 ② 2 ③ 0 (8)	西村	木 村
		3	18	金	心疾患の外来治療(狭心症 心不全・不整脈を中心に)	青梅市立総合病院 内科 部長 坂本 保巳先生	I C I	18 (A) 17 (B) 1	① 10 ② 0 ③ 0 (8)	松原	東
講習会	医師会	11	17	火	眼底の見方(I)	真鍋眼科 院長 真鍋 勉先生	福 神	16 (A) 14 (B) 2	① 6 ② 1 ③ 0 (9)	"	塩 澤
		12	8	火	眼底の見方(II)	真鍋眼科 院長 真鍋 勉先生	"	15 (A) 12 (B) 3	① 5 ② 1 ③ 0 (9)	"	村 山
教 師 会	医師会	6	25	木	会話の重要性について	言論科学振興協会 会長 江木 基彦先生	事 務 福 神	(A) 12 (C) 15 (他) 13	① 19 ② 16 ③ 3 (12)	"	塩 澤
		9	10	木	実年の運動と健康	筑波大社会医学系 教授 大貫 稔先生	"	(A) 9 (B) 3 (他) 23	① 10 ② 3 ③ 0 (22)	"	"
		9	24	木	学童の側彎症について	国立療養所 村山病院 副院長 大谷 清先生	福 神	24 (A) 17 (他) 7	① 15 ② 3 ③ 0 (6)	大塚	東

種類	負担	月	日	曜日	講 演	講 師	協 賛	出席者数	評 価	挨拶	司 会
勉強会 (A)	医 師	9	16	水	1. 消化器疾患の診断と治療 2. 漢方治療のABC	(西) 井上医院 井上勇之助先生 (東) 塩澤医院 塩澤 永康先生	福 神	18 (A) 16 (B) 2	① 5 ② 3 ③ 0 (10)	大塚	林
		63年 2	9	火	1. 最近の恙虫病について 2. 浮腫(症例を中心に)	(南) 五日市保健所長 松原義雄先生 (東) 横田クリニック 横田卓史先生	"	12 (A) 12 (B) 0	① 1 ② 2 ③ 0 (9)	松原	"
勉強会 (B)	会	10	9	金	1. 食道静脈瘤硬化療法の経験について 2. 某小学校における百日咳の流行 3. 診療に役立つ心臓の超音波検査法	青梅市立総合病院内科黒沢弘之進先生 福生病院小児科 青山 辰夫先生 阿伎留病院内科 坂本 一雅先生	"	(A) 15 26 (B) 9 (看) 2	① 14 ② 2 ③ 0 (10)	"	坂 本
		63年 3	9	水	1. 肺癌の症例について(II) 2. 中枢性呼吸障害に対する横隔膜 ペーシングの経験例 3. 糖尿病性アシドーシスについて	阿伎留病院 内科 佐野 茂男先生 青梅市立総合病院脳外科森 伸彦先生 福生病院 内科 牧野 弘志先生	"	(A) 12 23 (B) 11	① 6 ② 0 ③ 0 (17)	"	平 沼

会場 : 西多摩医師会館講堂 但 ㊦ 会話の重要性について: 羽村町保健センター

㊧ 実年の運動と健康: 羽村町コミュニティーセンター

ブロックだより

目白第2病院に西多摩で初めてのMRI
(磁気共鳴全身断層撮影装置)が設置され
5月14日(土)その見学披露パーティーが行
われた。MRIの特長は

- 1) X線CTと異なり体を動かすことなくト
ランスアキシャル像、サジタルコロナル像
からオブリーク像までの任意の断層像が撮
れる。
- 2) 測定条件を変えることなく体の各部組織
の環境を反映した種々のコントラストの断

層像が撮れる。

- 3) 磁気共鳴エネルギーを使っているため、
安全性は高く骨に囲まれた部分も見ること
が出来る。
- 4) X線CTは形態学的情報しか得られない
がMRIは形態学的情報に加えて生化学的
情報を得ることが出来る。……等である。
全身各部位の検査に適応した視野を持ち、
特に頭頸部、骨盤内、関節の診断に偉力を
発揮するものと期待される。

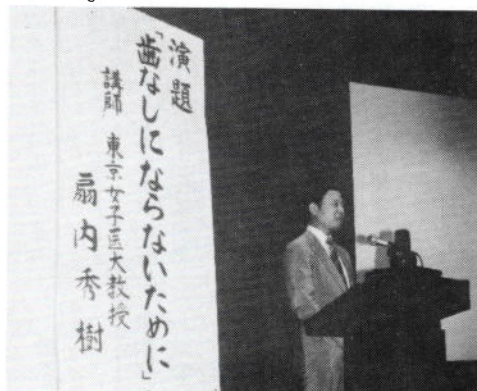
大塚 栄二

羽村町三師会1周年記念講演会行なわる

羽村町三師会は昨年6月6日福島大寿先生
を会長に、会員40名の構成でスタートした
が、まず初年度は、会員の親睦を目的として
活動を開始し、ゴルフコンペ等を行って会員
の結束を計った。今年度はこの成果を足掛か
りに一周年記念行事を計画、羽村町町民と共
に健康を考えるとという観点から、6月11日
午後2時より羽村町コミュニティセンター3
階ホールにて、『歯なしにならないために』
というテーマで、東京女子医大口腔外科教授
扇内秀樹先生の講演会が行われた。会はまず
福島会長の開会の辞に始まり、井上羽村町町
長、木下福生保健所所長の来賓の祝辞に次い

で講演会に入り、主に歯槽膿漏の予防につい
ての話に会場を埋めた人々は熱心に耳を傾け
ていた。

レポート 眞鍋 勉



福生市医師会

Citizens are able to have
several treatments of the
Fussa Public Health Center,
For example, health consul-
tations, preventive inocula-
tion, and guidance about ch-
ildbirth and child care.
There is also a holiday
clinic in the center.

突飛な書きだしで少々異様ですが、市勢要
覧1987のグラビアに保健・医療体制と題し
て、健康センターの機能^{ベネフィット}を要領よくまとめた
英文をみかけましたので、ソックリ失敬して
転載することを試みました。そして福生市役
所のシャープな広報スタッフに拍手を誌上よ
り送りたいと思います。

表紙写真の右側に診療室、福生医師会事務
局と書いてある階段をのぼると会議室、応接
室、和室などあり医師会の会合には大変都合
がよいようです。このことは先輩の先生の地
道な保健活動の集積に他ならないと敬服いた

して居ります。それだけにいつまでもセンターとの同居も結構ですが、若い優秀な後輩の先生たちが、どんなに小さくても医師会独自の建物をと……素敵な夢をみえています。

さてこのあたりで福生医師会の特徴的な何点かを挙げて本題に触れてみます。

1) 福生市医師会が休日診療所の運営すべてを行っている。

2) 市内の開業医（福生、大聖、目白の三病院は休日診療の二次医療機関として順次当番）は、開設当初より10年以上も標榜科目の如何にかかわらず全員参加の輪番センター方式で休日診療にあたっています。

江藤病院からは安富先生が、我々と共に参加していらっしゃいます。なお数カ所の院外処方薬局を依頼している。

3) 医師会長、副会長になられる方は、西多摩医師会の現役理事であることが明文化されている。又、副会長は会長の指名による。そのことは西多摩医師会（日本医師会および東京都医師会とも）との密接なコンタクトにより、質の高い情報を会員に伝える太いパイプ役が存在していると思います。

4) 幹事は、2年に2名を組み入れる方法で都合4名の構成、通算4年任期。アイウエオ順ですが、既に一巡して底をつき内山先生は顧問（医師会長経験者は有資格）を任意引退して一幹事役を務められました。

福生市医師会役員は次の通りです。

医師会長 宮川 栄次先生

副会長 林 実先生

監事 堀内 素先生

顧問 山田 正哉先生

” 上田登代一先生

ヘルス委員

内山 大先生 島田 芳明先生

星野 稔先生 今里 勉先生

宮川 栄次先生 林 実先生

森 和胤先生 山口 太平先生

渡辺 良友先生 道又 正達

休日診療所運営委員

星野 稔先生（所長） 池田 聖先生

西村 邦康先生 宮川、今里、林、渡辺
山口の諸先生、道又

健康相談担当医

山田、西村、堀内、島田、今里、林、渡辺、
山口の諸先生、

中村 武先生、米谷 豊光先生、
玉木 一弘先生、道又

幹事 渡辺、山口、玉木の三先生 道又

（各々庶務、会計、広報、学校医を担当）

どちらの医師会も頭の痛い問題をひとつやふたつ抱えて居られると思いますが、当面休日診療（大きく含めるならば、時間外はすべて）の三思三省をすべきだと思います。去る6月2日臨時総会の席でも、周囲の休日診療情勢も10年まえと変ってきている、会員自身の向老性、などなど真剣なトークがありました。少々余計なことを書きましたでしょうか？

中樞の先生より、『会報に皆で揃った写真を撮ろうよ』の声を聞きまして、Z君はそれでは上記の会のとときにばかりに張り切りしました。そこで一計、誰もがウマイと思うX先生に頼み込み、委任状欠席の先生にも電話をかけ召集、医師会員の大部分の先生を失礼がないように三列に並んでもらいました。そして慎重に激写しましたが、完璧を期す性格のX先生より自信の一作をいただけず次回乞う御期待となりました。いずれX先生とZ君でその埋め合わせをしてくれるものと思います。

この原稿を書くにあたり、宮川会長先生より魅力的なテノール調ボイスで『先生書いてヨ』と声を掛けられ、軽卒にも引き受け我流もいいとこバラバラ書きなぐり福生医師会の印象をわるいものにしたのではと大いに反省して居ります。会員の先生一人一人の小生から診た印象など書いてみたいと思いましたが、このあたりで筆を置きます。福生市医師会は、素晴らしい個性の集団で、21人の開業医と四病院の医師団の豪華なメンバーに恵まれた小生は大変ラッキーです。

1988. JUN. 15. M. Michimata.

会議

- 6月3日 地域医療委員会
- ” 救急・休日診療委員会
- 8日 理事会・総務会
- 9日 地域医療委員会
- 20日 会報委員会
- 21日 医療協
- ” 理事会
- 23日 地域医療委員会
- ” 都衛生局との打合せ会
- 29日 学校医部委員会

講演会・その他

- 6月8日 整備会
- 14日 交通安全運転者講習会
- 15日 法律相談
- 24日 学術講演会

役員出張

- 6月9日 都医学校医会第15回評議員会
- 10日 三多摩広報研究会
- 11日 羽村三師会
- 15日 青梅看護学院運営委員会
- 17日 都医会長会

- 6月17日 三多摩会長会
- 22日 都医代議員会
- 25日 江戸川区医師会40周年記念

会員通知

- 臨時総会報告
- 学術講演会案内
- 63年度第1回成人病検診従事者指導講習会
(肺がん・乳がん)の実施について
- 63年度第1回准看護婦卒後教育講習会開催
- ” ” 医療法人設立認可説明会開催
- ” のつつが虫病対策の実施について
- 都衛生局の行う63年度在宅難病患者緊急一時入院事業の実施について
- サーベイランスのためのAIDS診断基準について
- 厚生省通知「診療録等の記述方法等について」送付について
- 海外における腎移植勧誘問題について
- 東京都の難病医療費公費負担のお知らせ
(ポスター)
- 青梅市立総合病院6月分宿日直表
- ” CPC開催通知
- 学術講演会案内

訃 報

大 堀 力 様 69才

大堀 洋一先生(御尊父)

去る6月10日御逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

お 知 ら せ

八 月 八 日 (月)
正 午 迄

診療報酬請求書提出日

同好会だより

第65回西医ゴルフ研修会
兼第24回西狛対抗戦

昭和63年5月29日(日)

於立川国際C.C. 草花コース

当日は好天に恵れ、両医師会の代表16名によって熱戦がくりひろげられました。中にはゴルフそのものより舌戦を楽しんだ組もあったようですが、これも親睦ゴルフとして大変結構な事と思います。

全員元気にホールアウト後のパーティでもビールだけでは物足りない先生は賞品のワインの栓を開けるなど大いに盛り上り、いつもの事ながら有意義な会でした。

小生は前週のゴルフで両足を痛めてしまい、とても立川国際のようなアップダウンのきついコースでのプレイは不可能でしたので、残念ながら直前にリタイア。先生方には大変御迷惑をおかけしましたが、スタート前もパーティの席上でも何事もおきずホットしました。次回は頑張りますのでよろしく。

さて、当日の成績ですが、個人の部は41, 39の好スコアを出された山口先生(狛江)が、また団体戦は388対392ストロークで狛江医

師会が優勝しました。最近狛江サンも強くなってきましたので、西多摩サンもしっかりして下さい。

また、例年は秋には9月に開催していましたが、今年は10月に「河口湖C.C.」で行う事になりましたので(ゴルフ部の合同で)是非御参加下さい。

(足立)

	O	I	G	HD	N	
山口	41	39	80	11	69	優勝
杉本	45	48	93	17	76	準優勝
大嶽(繁)	49	47	96	20	76	3
内山(博)	54	51	105	28	77	4
細谷	53	44	97	20	77	5
江本	46	43	89	11	78	6
佐藤	50	45	95	17	78	7
藤川	50	42	92	13	79	8
内山(大)	50	47	97	12	85	9
川島	54	61	115	30	85	10
大嶽(栄)	46	45	91	6	85	11
沖	53	46	99	12	87	12
川崎	60	51	111	22	89	13
岩瀬	47	48	95	6	89	14
青井	55	59	114	24	90	BB
近藤	57	59	116	23	93	16

硬式テニス同好会を発足します！

諸先生、運動不足ではありませんか？

ゴルフもいいですが、時に若い女性とペアになって白球を追う、あの「青い山脈」風(ちょっと古い)のテニスはいかがですか。

先生御自身のみならず、御家族や職員の方々も含めて、どうぞふるって御参加下さい。全くラケットに触れたことのない方には、専任コーチ(男性には女性、女性には男性)を付けたいと、思っています。

記

日時：7月16日(土)及び23日(土)

P.m. 7:00~9:00

場所：羽村町富士見公園コート

会費は当日割り勘とします。

なお、7月16日(土)は発足会としますので、雨天の場合も同コートに集合して下さい。

文責 真鍋

あ と が き

今年はどうやら今のところカラ梅雨の様である。梅雨入り宣言が早すぎたとか、いつもながら気象予報の難しさが取り沙汰されるが、我々にとってみれば、雨の少ないこの季節は誠に有り難い。北海道育ちの小生には、この時期ばかりは、望郷の念に駆られるほど苦手な季節である。とは言っても、よく言われるように、作物の出来ぐあいとか貯水の問題になると、そう我身の勝手ばかりは言っておられぬのが現状だ。気象予報の話しにもどるが、今や予報は、宇宙衛星アメダスとかコンピューターを駆使して、極めて高度な科学的方法によっているはずだが、そのわりには当たらぬケースが多いようで、いまだになまものを食べたときは、気象庁気象庁と3度唱える御

仁が多いと聞く。先日、朝のNHKテレビで、明治神宮内苑の菖蒲の開花の様子が放映されていたが、なんと気象庁がその開花率を調べて、気象予報の資料としているという事を知って、思わぜ失笑してしまった。あまりにもアメダスとの隔たりを感じたからである。しかし、その後で自分の軽率さに気付いた。つまり、気象はあくまでも自然そのものであり、みじかにある自然観察こそ原点ではないだろうか、と。そして我々の周囲もMB機器万能の昨今であるが、しかし、診断の原点は、視診と触診であったという平凡な結論に達した次第である。

さうぶ湯やさうぶ寄りくる乳のあたり

白 雄

BEN

ミス・プリンティング!!

目次の順番 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8,
9, 10, 11, となるのが本来です
が、2, 3, 4, 5, 6, 7, 8,
9, 10, 11, 12, でした。

理事会報告の5個所で、理事会署名人を理事会署明人となっていました。

西多摩地域の学校保健についての文中、左側
13行目 患染症は感染症の誤り
です。

市町村医師会紹介シリーズの右側下から7行
目 青梅市立総合病院が青補市立
総合病院となっていました。

今後ともシッカリやりますのでお許し下さ
い。 第186号 校正係 みちまた

昭和63年7月1日発行

発行所 (社)西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103
TEL (0428)23-2171(代)

会報編集委員 大嶽栄二

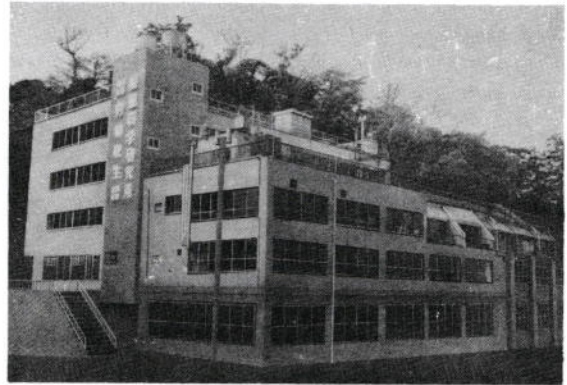
石井好明 栗原琢磨 小林杏一
真鍋 勉 道又正達 百瀬眞一郎
横田 博 渡辺良友

本号の校正は 道又 (0425-51-3626)

印刷所 マスダ印刷 TEL(0428)22-3047

臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106
電話 045 (333) 1661 (大代表)
八王子市子安町3-17
電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
 - 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
 - 関係医療機関 約 3,500ヶ所
 - 広範囲な検査内容
 - 内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査
- ！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。

ハイテクノロジー検査領域へ!

本社総合ラボは、日々進展変化する臨床検査システムに対応すべく、関東医学研究所の総力を投入し、最先端検査機器を駆使した正確な情報の抽出を目指しています。検体のお預りからデータのご報告まで、確実に迅速にお応えします。

事業内容 一般検査、血液学的検査、血清学的検査、臨床化学検査、微生物学的検査、ラジオ・アイソトープ検査、病理学的検査、集団検診などの臨床検査



本社総合研究所 海老市大塚3-873 Phone. (0485) 42-3171 (大代)
第2研究部 新六市岩岡町281-58 Phone. (0429) 23-7272 (代)

Kanto Biomedical Laboratory